

「まどびの里子ども自然村」

林 源慈（秋田市 小1）

雪のかたまりがいっぱいあるところを、おちました。ゴロゴロころがりました。だけど、たのしかったです。おちた雪がふわふわしてました。きもちよかったです。

「ソリアそびとかまくら作り」

松下 覚（神奈川県 小2）

今日、ソリアそびをして、一番楽しかったことは、ソリがひっくりかえったことと、おもいきり下にむかって止まったこと。二番目に楽しかったことは、一番さいしょにやった自由活動の時の、かまくら作りの時、四家祐志君と一緒につくったけれど、とちゅうでほかのかまくらを作っている所に入れてもらった。そこでおもいきりかまくらをつくれました。

「のう家たのしかったよ」

鎌田有香（東京都 小2）

わたしは、のう家入りしたことが一番心にのこりました。さいしょ、のう家入りするまえは、とってもやさいとかがたべれないかなとドキドキしました。そのあと、のう家についたあと、いろいろあそびました。とってもたのしかったのですが、とっても2はく3日がみじかくかんじたので、もっとあそびたいです。

「冬休みの農家」

平岩 裕太（東京都 小2）

ぼくは、福岡さんという家に行きました。その農家に門がありました。大きかったです。ぼくは、こう思ってしまいました。「いいなこういう農家」と思いました。あと、農家でかまくらを作って1時間30分くらいかかりました。おとうさんが、ショベルカーでつみあげてくれたそうです。つくるのがらくちんでした。ぼくが帰る時、おとうさんにこわされてしまいました。

「楽しいスキー」

野津 美梨加（東京都 小2）

わたしが、いちばん印象にのこったのは、ノルデックスキーです。なぜかというと、わたしは、はじめてやったからです。さいしょは、すぐころんでしまっていたけど、先生に

おしえてもらって、だんだんうまくなりました、とてもうれしかったです。

「楽しかったまとびの里」

出石 亜里彩（神奈川県 小2）

私は、まとびの里に四日とまりました。中でも一番楽しかったことは、二日目の午前中にやった、もちつきです。一人十回ずつもちをつくのが楽しかったです。二番目に楽しかったことは、ソリアそびをしたことです。はじめは一人でやっていたけど、だんだんふえてきて、最後には四人のりになりました。わたしは二番目にのりました。とても楽しかったです。

「まとびでたのしかったこと」

渡辺 凌（東京都 小2）

農家でソリをしました。下が、がけになっていて、そのさきが川になっていたのでもすべりやすかったです。さいしょはソリをおすだけしかやっていなかったけど、のってみたら、けっこうおもしろかったです。あと、農家のいえのところで、かまくらもつくりました。

「冬のまとびの里」

四家祐志（秋田市 小3）

今回、冬のまとびの里は、はじめてだ。バスに乗っているときから、どれくらいふっているか、ずっと楽しみだった。でも、ずっとバスの中でしずかにしていた。そこに、楽しそうなふんいきがした。後ろのせきをみでみると、とっても、もりあがっていた。それから、ぼくたちも、なかまにいらしてもらった。楽しくやっているうちに、どんどん時間が過ぎていった。ついた時、夏の時しばふだった所にいってみると、そこはもう、一面雪だった。ひざのところまでふかかった。センターの男子の部屋、女子の部屋とわかれてる所も、ぎゃくだった。まるで、夏と冬がかわるだけで、ところどころがかわっていた。

「のうかに行く前に」

青木 怜央（東京都 小3）

石川リーダーがのうか発表と聞いてきんちょうした。一番メンバーがきんちょうした。最初メンバーは2人でした。それは、女の子でした。またもや女の子でした。次も女の子でした。次は、やっとなんと、あと5人が選ばれました。やっとなんばれた。やっとなん安心

してのうかにいける、とおもったらチーム替え、一人がちがう所にいって、中村しょう太くんが来た。ぼくがいなくてよかったなーと思った。

のうかについて、あいさつをして荷物をおいて、へやのあんないをしてもらって、つぎの日は、9時～11時までかまくらを作りました。作り終わったら、かまくらの中でココアとさくらもちに、にたやつをたべた。ココアものんだ。おいしかった。

さいしゅう日の朝、お父さんがかまくらをショベルカーでこわしてしまった。ぼくたちがせっかくつくったのが、もったいなかった。かえるときお父さんは、車でかえった。しかもお父さんは、車をうんでんすんのは、6年ぶりでした。

「まとびの里のかまくら」

永井響子（東京都 小3）

私は、東京にすんでいます。東京も同じように雪は多くふりません。ふっても足の半分までふりません。でもことしは、まとびの里にきて、大きなカマクラを作りました。カマクラを作るのは2度目です。カマクラにすべり台を作って、ベランダも作ろうとしましたが、男の子にこわされて、ものすごくおこって、のぼってきてもおいはらってしまいました。

「まとびの思いで」

長崎 彩子（北秋田市 小3）

私の、まとびの思いでは、農家たいけんです。鎌沢に行って家をさがして行った所です。ソリ遊びや、トランプをして遊びました。一番楽しかったところは、朝早く起きて、朝ごはんのじゅんぴをしたことです。「30品目以上食べればいいよ」と言ったのでびっくりしました。昼は、ソリ遊びをいっぱいしました。夜は夜ふかしをしてしまいました。火曜日は11児ころまでおきていたのでざんねんです。まとびにくるときは、わかれるのがとてもかなしかったです。来年はかならず会いたいです。

「農家で作ったかまくら」

佐藤 彩佳（東京都 小3）

農家でかまくらを作りました。学園でも作ったから二回目でした。さいしよに雪を集めるさぎょうをやりました。思ったよりもつかれました。その次にあなをほるさぎょうをしました。あなをほるさぎょうはとても楽しかったです。あなをほるのはとても時間がかかりました。その次にたなを作りました。たなにはみかん、お人形と雪だるまをおきました。リーダーたちがきたとき見たらかまくらじゃなくてピラピッドになっていました。夜入っ

てみたらとても温かかったです。

「たのしかったおみやげ作り」

宮本 春花（秋田市 小3）

わたしが1ばん心にのこったことは、おみやげ作りです。おみやげ作りで、はごいたを作りです。おみやげ作りで、はごいたを作りました。はごいたに犬の絵をかきました。友達は、「じょうず」と言われました。でも、自分ではへただなあと思っています。だけど「じょうず」と言われたのでうれしかったです。

「楽しかった！ノルディックスキー！」

永澤 花梨（埼玉県 小3）

私は、ノルディックスキーをはじめてやりました！さいしょはこわかったけど、あとからなれてきました。さいしょは、何回もころんでいました。坂道や上り坂で何回もころんでいたけど、だんだんなれてきました。みんなはまえからやっていることがおおかったのでみんなとてもうまかったです！一回ころんだのが十れんぱつしました。（笑）またこんどまとびの里にきてノルディックスキーをやりたいです。四日間はとても楽しかったです！

「楽しいノルディックスキー」

芦垣 季咲（神奈川県 小3）

私はノルディックスキーが楽しかったです！いろいろころんだりちょっぴりできたりとーっても楽しかったです！さいしょはころぶとイタイと思っていたけど、1回転ぶと雪がやわらかくてとってもふわふわしてました。1回転んでいると、とってもおもしろくなりました。家に帰ると雪がないのでとってもさみしいです！また来てやりたいです。次また来たら、もっとノルディックスキーをじょうずにしたいです。

「のうかにとまった」

簾内 春香（北秋田市 小3）

わたしは、のうかにいったとき、すみれさんとはなさんという子がいました。すみれさんは小4で、はなさんは中3です。わたしは、その家についたときに思ったことは、「わーひろーい」でした。その朝昼夜のごはんはすごくおいしかったです。そのすみれさんと、はなさんとトランプやウノをやりました。トランプは一回かったけど、ウノではぜんぶまけてしまいました。とてもくやしかったです。あと、かくれんぼもしました。はなさ

んが、かくれるのがじょうずで、なかなか見つからなくて、すごかったです。わたしのとまったのうかの人は、いろいろとつくれる人でした。いった日は、なわないをしました。まあまあ、じょうずにできたのでよかったです。でも、その、のうかの人はすごくじょうずでした。あと、おりがみで小さいはこ、大きいはこをつかって、小さいはこのときは、すごくへたで、ほとんど人にやってもらっていたけど、大きいはこのときは、すこしはじぶんでしたけど、やっぱりくみたては、のうかの人にやってもらいました。くみたてるのもつくるのもじょうずでした。その家のおじいさんは、雪かきでたいへんそうでした。そとにすごく雪があって、すごくたいへんだなと思いました。

「のう家にいったよ」

福森 賢（北秋田市 小3）

ぼくが、一番心にのこった事は、のうかに歩いていったことです。さいしょは、のうかにみんなで行くのかなぁと思っていたけど、何人かの班でいくので「何人で行くのかなぁ」「どのくらい歩くのかなぁ」と不安がたくさんだったけど、無事についたのでよかったです。こんど夏に万灯火の里があったら行きたいです。

「万灯火の里ではし作りと、ノルデックスキー」

長岡祐哉（岩手県 小4）

万灯火の里で最初にやったことは、はし作りです。夏の時よりうまくできました。自由時間の時に、ぼくは最初はノルデックスキーをしました。ぼくは、スキーはやったことはあるけどノルデックスキーはありませんでした。転びそうだったけど転びませんでした。楽しかったです。

「楽しかった農家入り、心に残った農家生活」

小澤 真帆（東京都 小4）

私が、万灯火の里の活動の中で一番心に残ったのは、農家入りです。一緒に行ったのは2年の石出ありさちゃんです。最初「私の方が大きいんだから、がんばろう」と思い、地図を見たけど、どっちが合川駅かわからなくて、リーダーにきくと「あっちだよ」と教えてくれたので、どんどん歩きました。もう足がつかれて一歩も動けないって時になったら、ワープの車がきて、のせてくれました。「あ～助かった」と思いました。そして目的地に着いたときは「やったぁ」と思いました。農家の人は佐藤てつろうさんです。農家の人はやさしかったし、たくさん遊んだし、お手伝いもできたので、とても心に残った農家体験でした。

「農家の初めの日」

野津 幹陽（東京都 小4）

ぼくは、農家に行った事が思い出になりました。最初におかあさんとあいました。ぼくは体の中が緊張で満ちあふれました。でも、おかあさんは、やさしくふるまってくれました。そして「かまくら作る」とゆってくれたので、「はい」と答えました。そして作りしました。ぼくは雪を集めました。途中まで作って夜ごはんを食べてお風呂に入り、テレビを見てねました。

「最高だったゆきあそび」

福森 公喜（千葉県 小4）

ぼくは、農家に行って、雪あそびをしたことが楽しかったです。最初に農家に行って、あいさつをしてにもつをおいて、外に出ました。庭に雪が大量にあったので、かまくらを作りしました。雪をいっぱいあつめてかため、穴をほりました。途中にものすごく急な坂があったので、3人のりのソリでおもいきりすべりました。ジャンプ台も作ってすべりました。とても最高で楽しかったです。

「まとびの里子ども自然村をふりかえって」

志田 直樹（東京都 小4）

ぼくは、まとびの里で一番楽しかったのは農家体験です。福島さんという人の家に宿泊し、おいしいご飯を食べさせていただきました。巨大なかまくら作りや、雪合戦など楽しい体験をさせていただきました。4日間で夏より1日少なかったけど、とても楽しかったです。来年もまとびに来たいです。

「雪ダルマの親子」

佐藤 百合香（神奈川県 小4）

私は、農家の庭でみんなで作った雪ダルマのことが、一番心に残りました。私たちの農家のチームは4人だったので、2人に分けて雪ダルマを作りしました。私のチームの雪ダルマは丸くなりました。もう一つのチームの雪ダルマは丸くなっていて倍の大きさだったのでビックリ～。目や鼻、口の材料は雪の中をかけめぐり、鼻はみかんの皮を使い、目や口は落ちていた木の実を使いました。最後雪のかたまりを使い動物を作りしました。そして、雪ダルマの親子とペットができあがりました。

「きれいだった万灯火」

加藤 祐（大仙市 小4）

ばくが一番心に残ったことは、万灯火の玉を作るところからやったことです。玉を作るときは、軍手に布きれを詰めるのがすごくたいへんで、形が丸じゃなくて、変な形になってしまいました。布で布きれを包んでむすぶほうはできなくて、最後には全部布きれをもどしてしまいました。灯油をつけてかけるときに、なんかヒモを針金の先についているのがわたって、軍手がぬれてしまいました。火をつけてくれた後に祐哉君といっしょにみて回りました。きれいでした。また来よう。万灯火の里へ。

リーダーへ また夏、かあさんにたのんでまとびの里にくるからね。まっててね。

「たのしかった雪がっせん」

中村 将太（神奈川県 小5）

今日は、たのしかったです。なにがたのしかったか発表します。それは雪がっせんがたのしかったです。雪だるままたね、バイバイ。

「私の一番の思いで...」

清水 真澄（神奈川県 小5）

私が、まとびの里に泊まって、一番思いでに残ったのは、伝統行事のまとびが一番思いでに残りました。なぜかというと、長い枝の先に布を巻きつけた物に火をつけて、まとびの火だねに代表で火をつけたので、とても思いでに残りました。火だねに火をつける時は、ビニールをつけたまま火をつけるので、ちょっとくさかったです。それと、車まとびは初めて見たのでびっくりしました。火だねが飛びそうでちょっと怖かったです。

「農家でのかまくら作り」

武田 紀人（北秋田市 小5）

農家入りの2日目起床時間は、午前8：00でした。朝食をいそいで食べ、昨日お父さんが作ってくれた雪山でかまくらを作りました。5人いたけど、せまかったからあまり進まず、パワーショベルも使い進めました。できたときはとてもうれしかったです。かまくらの中で飲んだココアは最高でした。京都のおかしも食べれてラッキーでした。

「綿だるまと、針と糸」

四家 怜菜（秋田市 小5）

まとびで農家入りするときに、初め玄関に入ったときに、ちょこんと綿のにわとりが置いてありました。私は、それがちょっと気になりました。そして、農家の1日目の夜、農家のお母さんが、綿のぬいぐるみを見せてくれたのです。2日目の昼頃、きさきちゃんと農家のお母さんと一緒にぬいぐるみを作りました。すこし変だったけど、ほめられたのがよかったです。

「楽しかった、はご板作り」

福田 志帆（東京都 小5）

私は、はご板作りが一番楽しかったです。特に、はご板に絵を書くのがその中でも一番でした。犬の絵はむずかしかったけど、花の絵や、文字などを書くのが楽しかったです。花の形をした物を付けるのも手伝ってもらって上手にできました。少ししっぱいしたけど上手にできたので、大切にしたいです。

「3度のソリ遊び」

簾内 愛美子（北秋田市 小5）

私は、ここに来てから3回ソリ遊びをしました。まとびで2回、農家で1回やりました。まとびでやったときは、5人乗りや、4人乗り挑戦しました。スピードがついておもしろかったです。農家では2人乗りしか出来なかったけど、スノボードのように立ち乗りました。スキーをやっていると、あまりソリをやることがないので、久しぶりで楽しかったです。大きいソリや小さいソリ、成功したときや、失敗したときが一番楽しかったです。

「2泊3日の農家生活と雪遊び」

林 あかね（秋田市 小5）

活動の2日目に、農家に出発しました。最初地図を見たとき、道に迷いそうだと思います。三里の集落に入る時、やっぱり道に迷いそうになりました。だから、周りの方に聞きました。そして、農家に無事に着くことができました。農家のお母さんは、心よくむかてくれました。次の日は、だまこもちを作りました。私は、何回も作ったことがあるけど、4人で作ったのでとてもおもしろかったです。午後からは雪だるまを作りました。私は、1m以上の雪だるまを作ることができました。ブルーベリーみたいなのを使って、ほっぺたもつけました。農家のお母さんが、みかんをくれました。みかんは冷たい方がいいので、雪で冷凍庫を作って入れることにしました。冷凍庫に入れると、すごく冷た

くておいしかったです。1日のみかんを5個食べました。また、農家に泊まりたいです。センターでは、大きなかまくらを作りました。横手のかまくらより小さいけど、20人くらい入れてすごいと思いました。

「ノルデックスキー」

永澤 結菜（埼玉県 小5）

私がまとびで一番心に残ったのは、初めてスキーをしたことです。2日間しかできなかったけど、少しはすべれるようになりました。1日目はいっぱい転んだけど、なんとかコースですべれるようになりました。2日目は、坂をのぼったり、さがったりするのを練習しました。最初は、さがるのもこわかったし、のぼるのも大変だったけど、すべれるようになると楽しくて、たくさんやりました。私は、雪がほとんどふらないところに住んでいて、スキーはやったことがありませんでした。だから、まとびでのスキーはとっても楽しかったです。

「万灯火での思い出」

青木 類（東京都 小5）

万灯火をやるのに必要な玉を作りました。中には、布や服を切ったやつを入れました。入れ物は軍手で、それをぼうに巻いて、灯油をつけた。ご飯を食べてから、その玉にたいまつで火をつける係を決めた。4班では、ぼくがやった。火を玉につけるのにすごい動いた。最後には、車万灯火につけた。みんなでそれを回した。遠くからそれを見たらきれいでした。

「ノルデックスキーの体験」

志田 幸江（東京都 小6）

私の一番心に残ったことは、ノルデックスキーをしたことです。最初は歩くだけで転んだり、倒れそうになっていましたが、コースを走っているうちに、コツがつかめてきました。ストックを後ろにつくと前にすべり、前につかると止まることも覚えました。上り下りの練習では、下りのスピード上げて走り、つづけて坂を登る練習もしました。また、こんどノルデックスキーをしたいと思いました。